

CONTENTS

	ページ
巻頭言 - 図書館と私 - （皮膚科学 島田 眞路）	1 - 2
雑誌の動き	2
平成11年度購入中止図書館備付け 学術雑誌について	3 - 5
図書購入依頼システム（WEB版）について	6
図書館ホームページ：雑誌関連情報を更新	6
新着図書案内	
編集後記	

図書館と私

皮膚科学講座
島田 眞路

私は図書館が好きだ。子供の頃から図書館は一種神聖な雰囲気を感じる空間であった。その静寂さ、本たちの独特の香り、ページをくる音などがその魅力を構成している。今でも時折本学の図書館でjournalを読んでいると充実した時間を過ごしている気分になる。さて、本稿では私の人生のなかで出会ったさまざまな図書館の感想を述べてみたい。

東京大学図書館

一度だけ行った国会図書館はまったく覚えていないので私の経験したなかでは最大の図書館である。建物はクラシックな建築で荘厳とも言える。学生時代、文学青年を気取って通ったことがある。ヴァレリーの批評集などを借りて読んだ記憶があるがフランス文学を専攻した友人がいたからかもしれない。この図書館は規模が大きすぎるためか、一種の孤独感を味わったことを覚えている。卒業してからは敬して前を通りすぎるだけになってしまったのは残念である。

東京大学医学部図書館

最も親近感を覚える図書館である。規模も中程度で利用者も医学部学生・教官が中心で孤独感を味わったことはない。学生時代はたまに利用した程度であったが、助手時代にはよく利用した。主に症例報告を書く際に利用したのであるが、雑誌の数は十分でなく、例えば慶應大学の図書館から取りよせてもらったこともあった。コピーは地下のコピー室のオバサンに頼む方式であった。当時はMRさんや医局の秘書さんで混雑していたのを覚えている。分院助教授時代にも後述する分院の図書館では雑誌が少ないこともあってたびたび利用した。我が財布のなかには今でも利用証とコピーカード（プリペイドカード）が入っているが、山梨へ移ってからは使用したことがない。

この図書館はB1Fがモナミという食堂兼喫茶室で学生時代、医学生の集会所のようになっていた。私もよく通った懐かしい場所であるが、最近閉店したそうで残念である。3Fは会議室になっており、医学部教授総会が2週に1度開催された。これには助教授も参加するので分院からマイクロバスで通ったものである。思い出の深い場所である。

東京大学医学部附属病院分院図書館

分院助教授時代最もよく利用した。分院はベッド数約250の比較的小さな病院なので、図書館も小規模である。雑誌がすべてそろっているわけではないが、majorな雑誌、すなわちNature, Science, Cell, PNAS, JEMなどはもちろんあった。ただし、内科のドクターは自分のものと勘違いして医局へ持って帰るためか、Cellの最新号などは紛失することが多かった。よくクレームをつけたものである。ただ、分院では内科が断トツで研究をしていたのも事実である。

2～3ヵ月に1度ではあるが、この図書館で2～300枚コピーしたことを覚えている。分院の実験室は貧弱で実験はほとんどできなかつたが、もっぱらpaperを読み漁り、最新の知識を得るとともに将来の研究構想を練る意味ではよかったものと思っている。

NIH Building 10（ビルテン）図書館

NIHにはNational Library of Medicineというすばらしい図書館があるが、残念ながら留学中の4年間に一度も訪れたことはない。同じNIHの敷地内とはいえ、1 Km以上はなれていたこともあるが、どうも私には巨大な図書館は性に合わないのかもしれない。

そこで最も利用したのがビルテンの図書館（1F）である。私が実験していたのはこのビルテンの12Fであったせいかわよく利用した。先輩から実験をやる人間は図書館には行くな、図書館は一種の避難場所だと忠告を受けたことがある。この意見は一種の真理を含んでいるため、この図書館にいと、勉強しているという自己満足を得ているだけという罪の意識を感じたこともあった。大体実験の不調なときに図書館に行ったのも事実ではある。しかし知識がなくては実験はできないので、もちろん全面的に正しいと言え

ないのではあるが。

この図書館には医学雑誌がほとんどそろっており、日本語の雑誌まで展示してあったのには驚いた記憶がある。

NIAID (National Institute of Allergy and Infectious Diseases), LI (Laboratory of Immunology) の図書館

私はビルテンの12F皮膚科部門で働いていたが、1階下の11FにはNIAIDのLIがあった。ここは世界の免疫学研究の中心であり、極めてすぐれた人材を擁していた。ラボ全体にも非常に活気があり、私自身も共同研究を行う機会が多かった。図書館もこの部門で独立して持っており、世界の一流誌はすべてそろっていたためよく利用した。Nature, Scienceなどは大きな図書館ではすぐに散逸してしまい、frustrationを感じる機会が多いが、このような小さな図書館ではトラブルが比較的少なかった。LIのfellowのような顔をして、コピーをよく取ったものである。ちなみにコピー代はfreeであった。

山梨医科大学図書館

東京大学医学部図書館より少し小さめではあるが、分院よりははるかに大きく、規模的には満足できる。私の好きな図書館特有の雰囲気も味わえる。

2～3ヶ月に1度は訪れることにしている。医局で購読していない重要な雑誌 J Exp Med, JCI, PNAS, Cell, European Journal of Immunology などは本図書館のお世話になっている。1回行くと100～200枚はコピーすることになる。ここのマシンは旧式でslowであり、性能が悪いのが難点である。ぜひ改善してほしいものである。また、財政難の折り、今回雑誌数が大幅に減ることになったのはやむをえないことと思われるが残念である。コンピューターで検索するのもよいが、私は本の香りのする図書館で論文を読む方が好きである。コンピューターの音よりもページをくる音が好きというのも旧世代に属するのであろうか。

雑誌の動き

廃刊

American journal of cardiac imaging v.10 (1996) 外科学第二

休刊

生きいきジャーナル - v. 7 (1997) 看護部

誌名変更

Journal of human genetics v. 43 (1998)- 図書館
Formerly: Japanese journal of human genetics

平成11年度購入中止図書館備付け学術雑誌について

外国雑誌の値上がり、円安の続伸などを鑑み、来年度購入する学術雑誌の見直しを行い、図書館運営委員会で審議のうえ次の雑誌を中止することになりました。

予算の厳しい折ですので、中止は致し方ないとは思いますが、購入雑誌が減ることは、文献複写が増えることでもあり、図書館としては断腸の思いです。

*** 中止雑誌（和雑誌54タイトル 洋雑誌73タイトル 計127タイトル）***

（和雑誌）

からだの科学

遺傳

衛生化学

衛生動物

科学技術文献速報：

化学・化学工業編（国内編）

解剖学雑誌

感染症学雑誌

基礎と臨床

最高裁判所判例集

産科と婦人科

産婦人科治療

手術

助産婦雑誌

小児科診療

小児内科

心身医学

人工臓器

数学

数学セミナー

整形・災害外科

生化学

生物物理

精神神経学雑誌

総合リハビリテーション

体育の科学

日本化学療法学会雑誌

日本外科学会雑誌

日本気管食道科学会会報

日本胸部外科学会雑誌

日本菌学会会報

日本形成外科学会会誌

日本細菌学雑誌

日本耳鼻咽喉科学会会報

日本小児外科学会雑誌

日本消化器内視鏡学会雑誌

日本消化器病学会雑誌

日本生理学雑誌

日本内分泌学会雑誌

日本熱帯医学会雑誌

日本病理学会会誌

日本輸血学会雑誌

日本老年医学会雑誌

犯罪学雑誌

法学教室

臨床医

臨床整形外科

臨床精神医学

臨床泌尿器科

BASIC 数学

Bit

Congenital anomalies

The Japanese journal of nephrology

Neurologia medico-chirurgica

STD

（洋雑誌）

Acta histochemica et cytochemica

Acta oncologica

Acta orthopaedica Scandinavica

Acta radiologica

Aktuelle urologie
American industrial hygiene association journal
American journal of perinatology
American journal of tropical medicine and hygiene
Der Anaesthetist
Annals of allergy, asthma & immunology
Annals of hematology
Annals of the rheumatic diseases
Anthropological science
Anthropologischer Anzeiger
Antimicrobial agents and chemotherapy
APMIS
Archives of dermatological research
Archives of environmental health
Archives of general psychiatry
Archives of histology and cytology
Archives of orthopaedic and trauma surgery
Archives of pathology and laboratory medicine
Archives of pediatrics & adolescent medicine
Biomedical research
British journal of radiology
British journal of urology
Bulletin of the medical library association
Bulletin of the world health organization
Catheterization and cardiovascular diagnosis
Clinical nephrology
Deutsche medizinische Wochenschrift
Developmental dynamics
Drugs
Electroencephalography and clinical neurophysiology
Epilepsia
European journal of immunogenetics
Experimental animals
Genes & genetic systems 遺伝学雑誌
Gnomon
Human psychopharmacology
Index of conference proceedings
Index to legal periodicals & books
Internal medicine
Japanese circulation journal
Japanese heart journal
The Japanese journal of pharmacology
The Japanese journal of physiology
Journal of allergy and clinical immunology

Journal of gastroenterology
Journal of human genetics (Formerly: Japanese journal of human genetics)
Journal of nutrition
Journal of occupational and environmental medicine
Journal of prosthetic dentistry
Journal of prosthetics and orthotics
Journal of rehabilitation
Journal of the American academy of dermatology
Metabolism
Minimally invasive neurosurgery
Neurosurgery
Occupational health & safety
Ophthalmic research
Parasitology international
Pathology international
Prostaglandins, leukotrinens, and essential fatty acids
Psychiatry and clinical neuroscineces
Scandinavian journal of urology and nephrology
The Southeast Asian journal of tropical medicine and public health
Stereotactic and functional neurosurgery
Surgery today
Tissue and cell
Tohoku journal of experimental medicine
Zeitschrift fur europaisches Privatrecht
Zoological science



図書購入依頼システム（web版）について

附属図書館では、この度講座等から直接図書の発注ができる「図書購入依頼システム（web版）」を開発いたしました。なお、従前どおり「図書購入請求票」による購入もできます。

図書購入依頼システムとは？

講座等からコンピュータで校費、委任経理金での図書の発注ができるシステムです。このシステムへは、「図書館のホームページ」か「山梨医科大学イントラホームページ」から入る事ができます。無論Web版ですから、Mac、Windows、Unixなどのマシンで申し込みができます。このシステムを使って図書を発注しますと、その図書がまだ発注中なのか、もう貸出しができる状態か、既に引渡しが終わっているかなどの状態を見ることが出来ます。

また、貸出しができる状態になりますと、指定されたアドレスにメールで連絡を差し上げます。各講座担当者向けの講習会は7月末に終わっています。何か御質問等ありましたら、附属図書館情報管理係（内線2108）まで、お問い合わせください。随時受付いたします。

図書館ホームページ：雑誌関連情報を更新

いままで外国雑誌について購入している中で主だったものについてリストアップしていましたが、今回購入雑誌のほぼ全てを一覧表にし、その出版社や発行団体にリンクしました。

また新たに、フルテキストをインターネットで見ることのできる雑誌一覧を作成しましたので活用ください。現在登録中の雑誌も手続きが終わり次第載せていきますので、もうしばらくお待ちください。

なお学内に限定して見ることのできる雑誌の中でもさらに個人で登録が必要なものもあります。登録の際にはsite id, site passwordが必要になりますので、メールでお問い合わせください。

雑誌関連情報

図書館及び講座で購入している雑誌についてリンクを作成しました。
お気付きの点や雑誌に関する情報がありましたらご連絡ください。
kanni@res.yamanashi-med.ac.jpまで

ONLINE JOURNAL

[外国雑誌関連情報](#)（出版社や発行団体にリンク）

- ・ [Full Text](#)を見ることが出来る雑誌一覧

[和雑誌関連情報](#)（出版社や発行団体にリンク）

編集後記

この4月に図書館に移って早4ヶ月、今年度前半の懸案であった本学当番による国立医科大学図書館会議も無事終了したが、一息吐くのも束の間、10月の関東地区図書館職員研修会に向け準備をしているところである。

現在、図書館には種々のサービスの向上が求められている。緊縮財政、定員削減等の厳しい状況の中、これらに対応していくためには先ず教職員一人一人が、『意識改革』に努めなければならないのでは。そのためにも常に『健全なところとからだ』を持ち合わせていたいものである。

(I. Y.)



編集 / 発行 山梨医科大学附属図書館			
<TEL>	直通	73 - 9353	情報管理係 内2108
	図書課長	内2106	情報サービス係 内2109
	総務係	内2107	カウンター 内2110